

県内景気動向調査 報告書

2025年2月

遠田商工会

<目次>

第1部：県内の景気動向

①経済動向

- 1-1. 鉱工業生産指数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 1-2. 新設住宅着工戸数（指数）
- 1-3. 公共工事請負金額（指数）・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 1-4. 百貨店・スーパー販売額（指数）
- 1-5. 有効求人倍率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 1-6. 新規求人倍率

②企業景気動向

- 2-1. 業況判断 DI・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 2-2. 売上 DI・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 2-3. 採算 DI・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

第2部：遠田商工会管内の観光動向

①遠田管内の宿泊観光者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

②遠田管内の主要観光スポット入込者数

<本報告書における指数の計算方法について>

①以下の指数は、平成27年の数値を100とし、季節変動調整済。

【計算式】

出典統計表の計算方法による

【対象】

1-1. 鉱工業生産指数

②以下の指数は、本報告書において経年比較をしやすいするために正規化を図っている。正規化の方法は、平成30年の数値を100として下記の計算式にて計算。なお、季節変動は未調整。

【計算式】

平成30年全体の実数 ÷ 12 …… A

計算対象年月の実数 …… B

指数 = $B \div A \times 100$

【対象】

1-2. 新設住宅着工戸数 (指数)

1-3. 公共工事請負金額 (指数)

1-4. 百貨店・スーパー販売額 (指数)

<本報告書におけるDIの計算方法について>

DIは各出典統計表の計算方法による。

<各種統計値の更新間隔について>

本文書で使用する統計値は、四半期単位での比較が可能になるよう、更新間隔が月単位及び四半期単位のものを中心に使用する。

<商圏内の消費購買動向について>

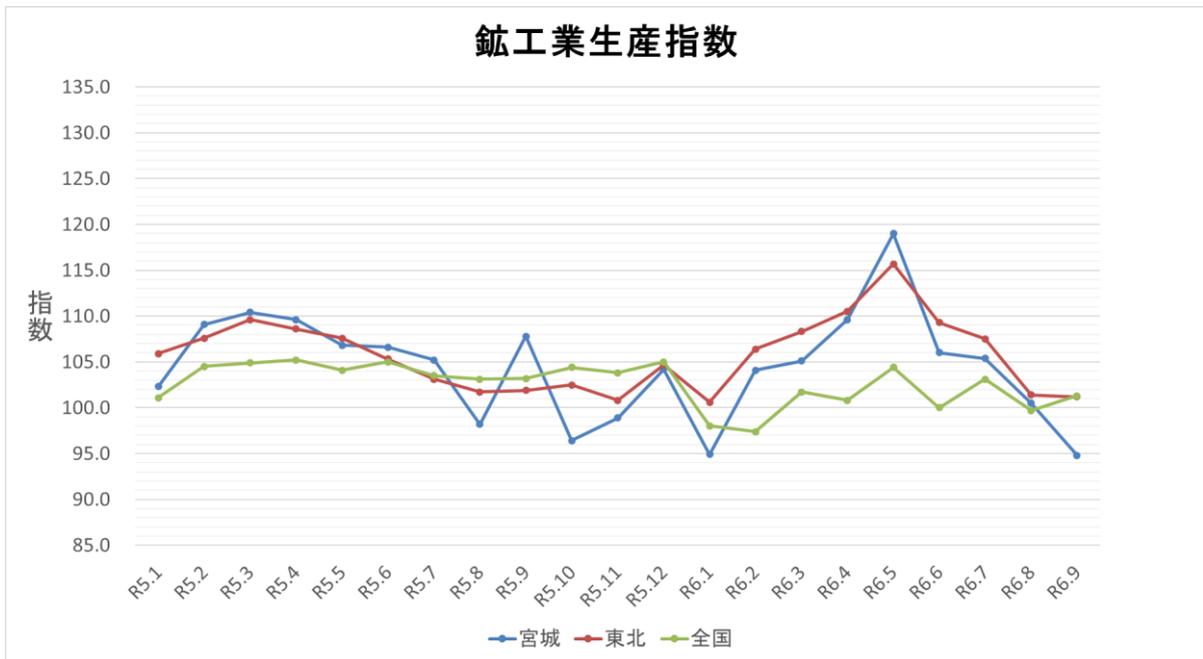
標記動向の分析については令和4年度の報告書に掲載していたが、参考元である「宮城県の商圏 消費購買動向調査報告書」が3年ごとの発行であるため、今年度は掲載を行わない。

第1部 県内の景気動向

(出典：みやぎ経済月報)

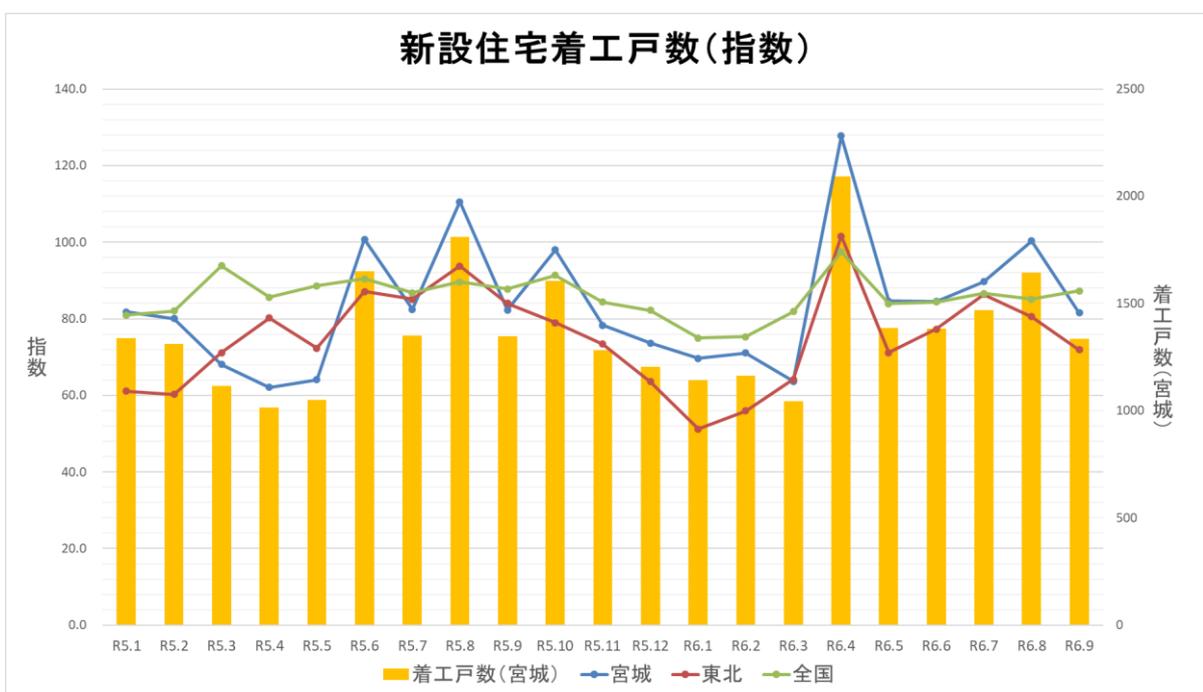
①経済動向

1-1. 鉱工業生産指数



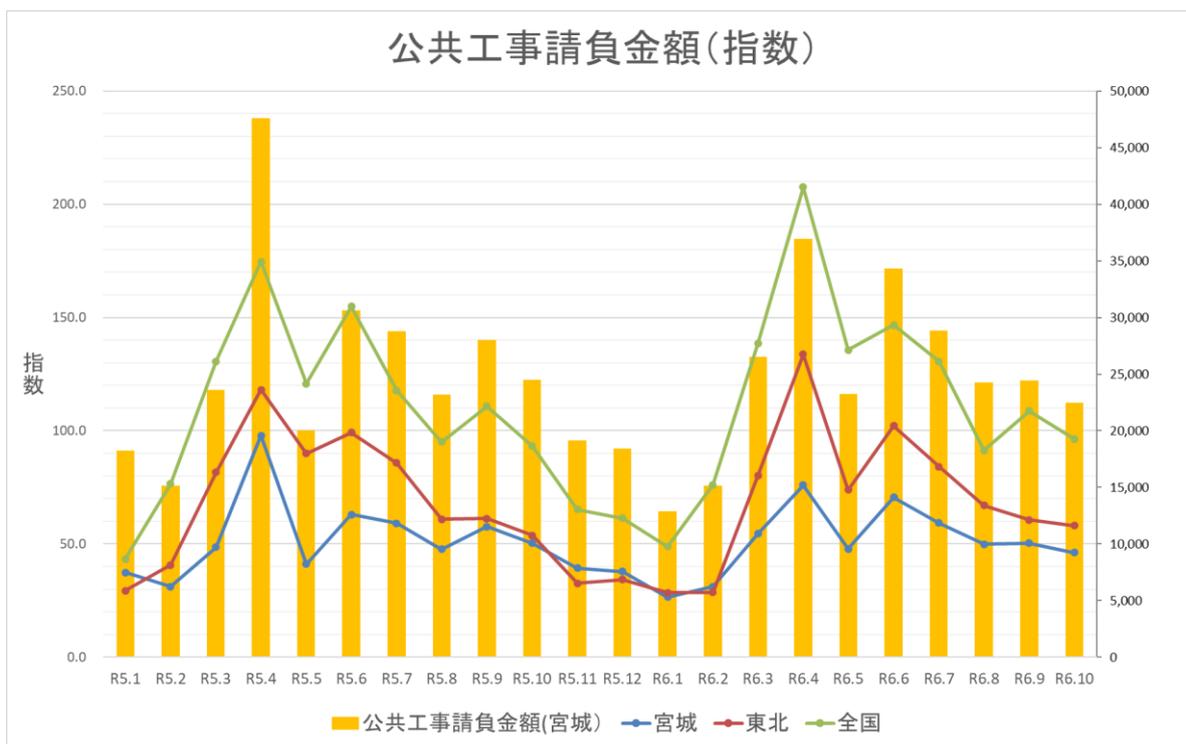
鉱工業生産指数は、宮城においては大きく上昇と下降を繰り返している。全体的には令和6年中に大きく上昇したことはあったが、その後は下降傾向となっている。

1-2. 新設住宅着工戸数 (指数)



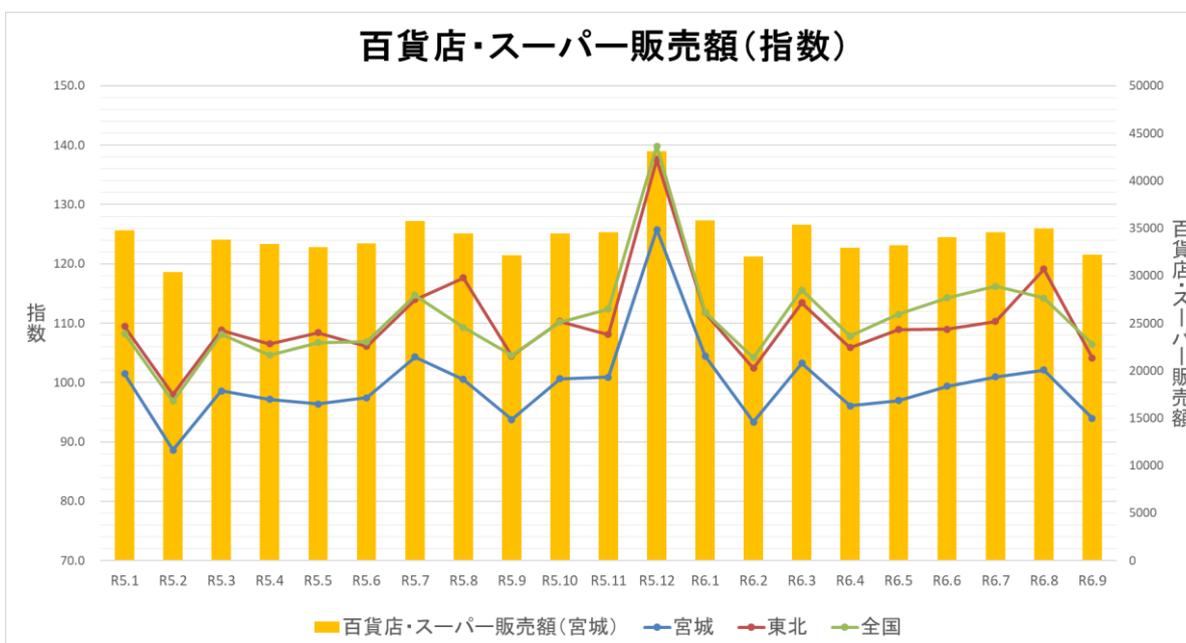
新設住宅着工戸数については、全体的に令和5年に下降気味であったが、令和6年に入って再び上昇傾向に転じている。

1-3. 公共工事請負金額（指数）



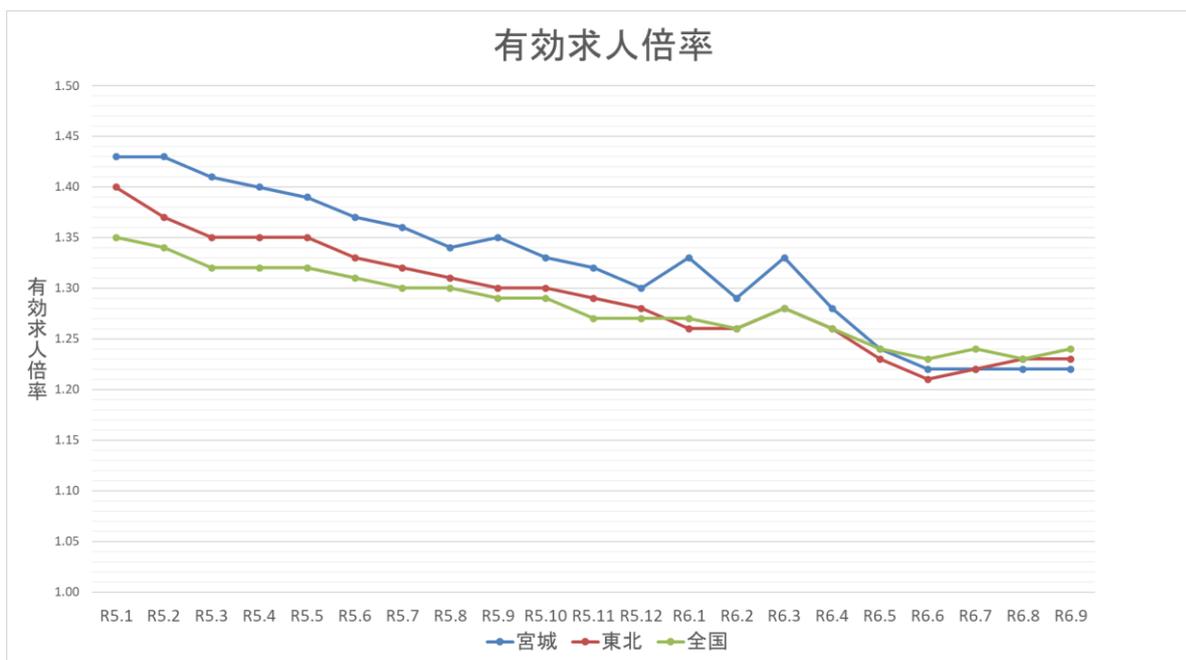
公共工事請負額については、請負額・指数ともに令和6年に入ってから増加傾向が見られたものの、その後はどちらの数値も下降している。

1-4. 百貨店・スーパー販売額（指数）



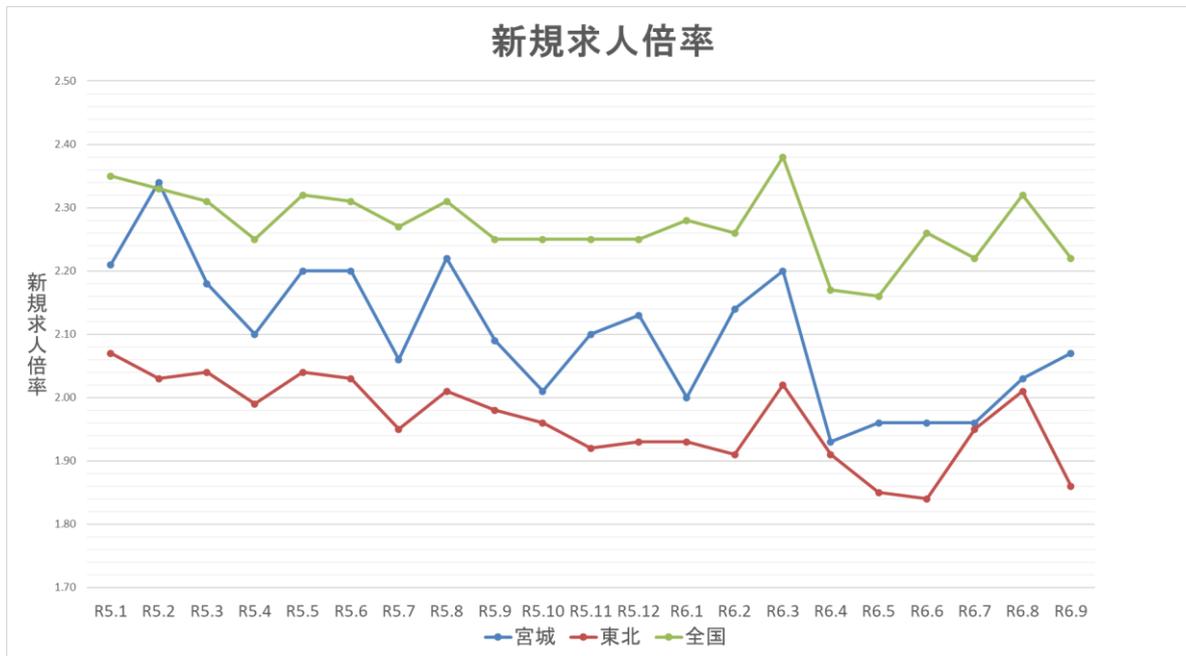
百貨店・スーパー販売額については、販売額は若干減少気味であり、指数も下がってきている傾向にある。

1 - 5. 有効求人倍率



有効求人倍率については、全体的に下降気味であり、宮城の有効求人倍率は、東北、全国の数値を下回っている。

1 - 6. 新規求人倍率

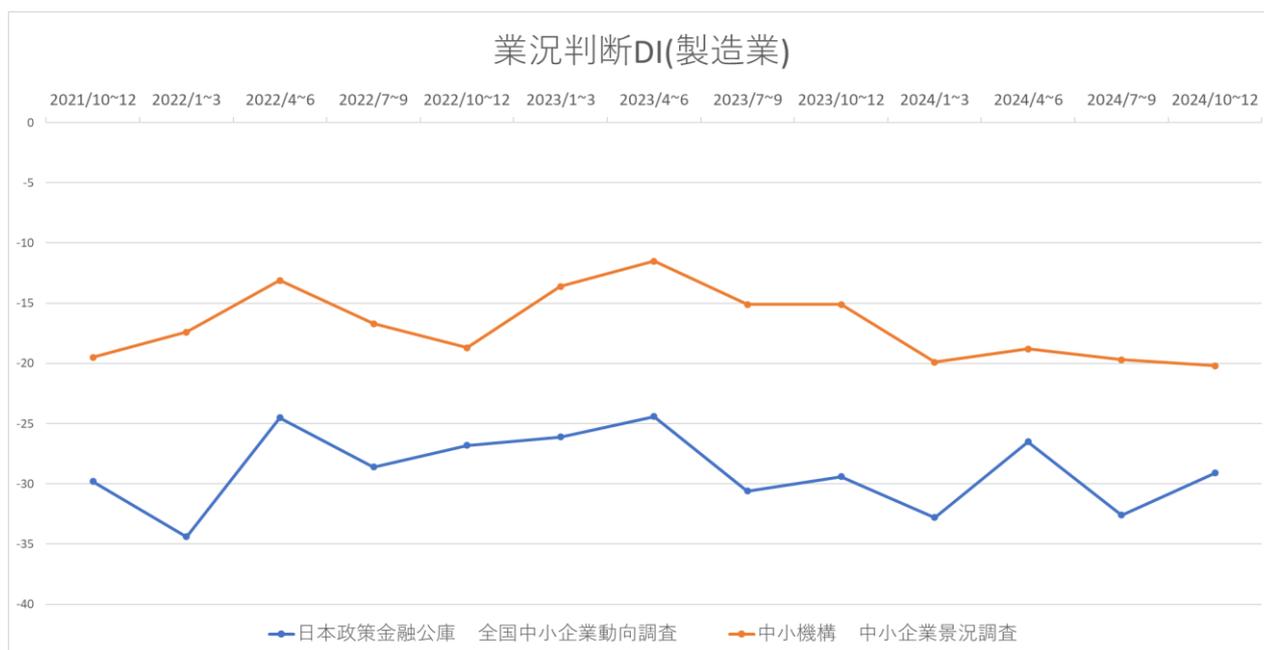


新規求人倍率については、令和6年に入ってから宮城においては持ちなおしつつあるが、全国、東北においては下降している。

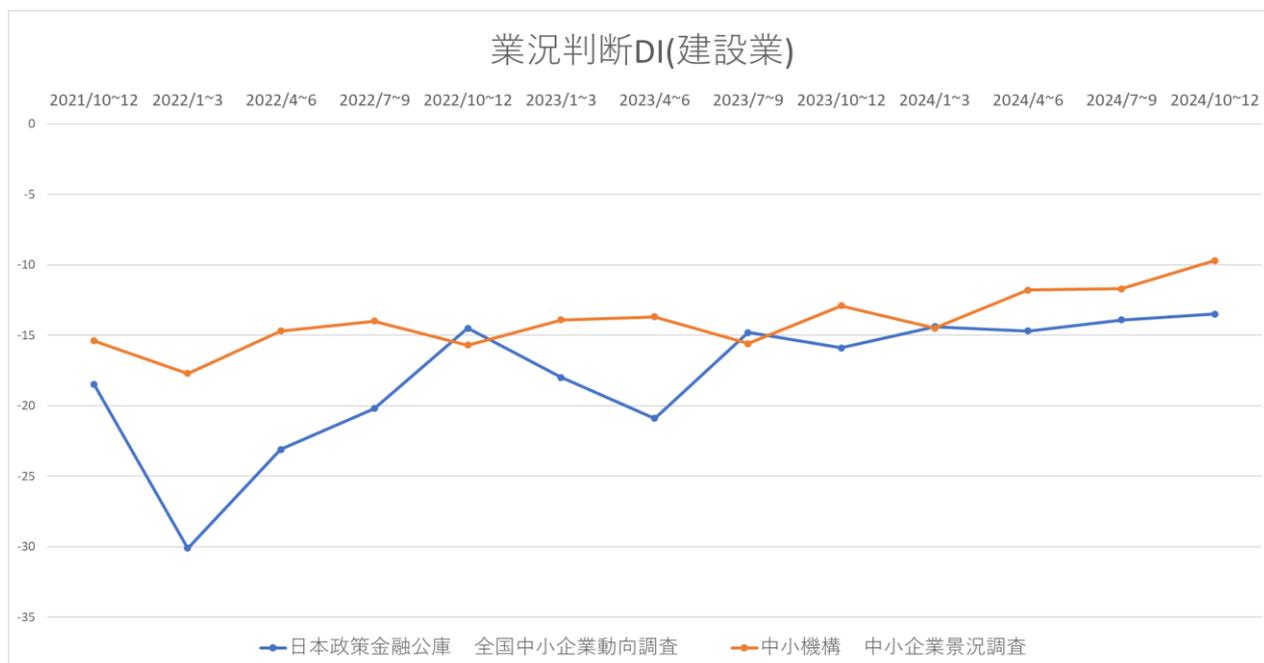
②企業景気動向

(出典：日本政策金融公庫 全国中小企業動向調査、中小機構 中小企業景況調査)

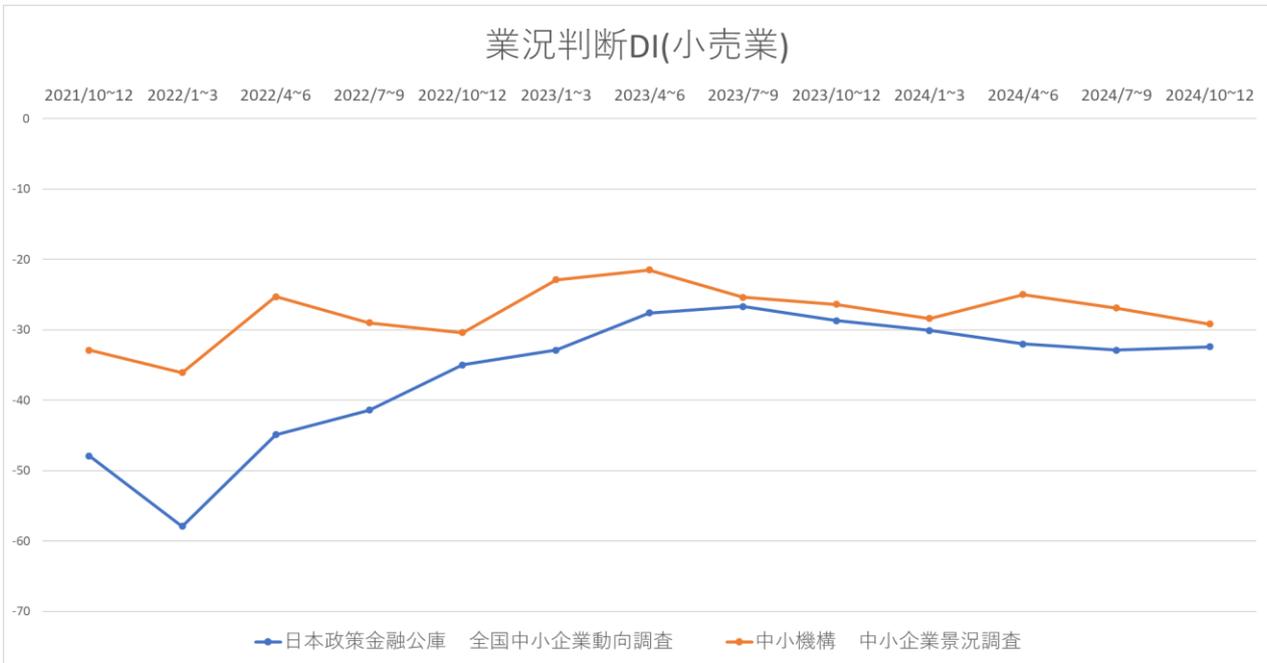
2-1. 業況判断DI



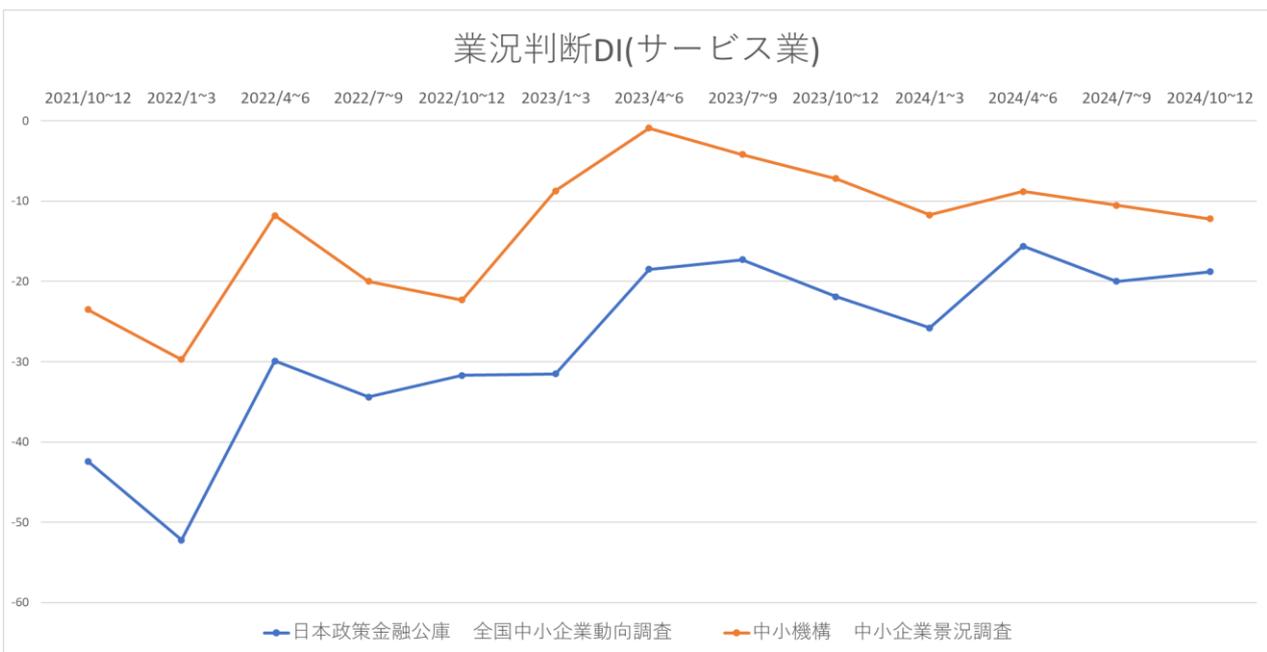
製造業においては、業況が悪い傾向が続いている。



建設業においては、全体的に若干業況が上向きつつあるが、依然として厳しい状況が続いている。

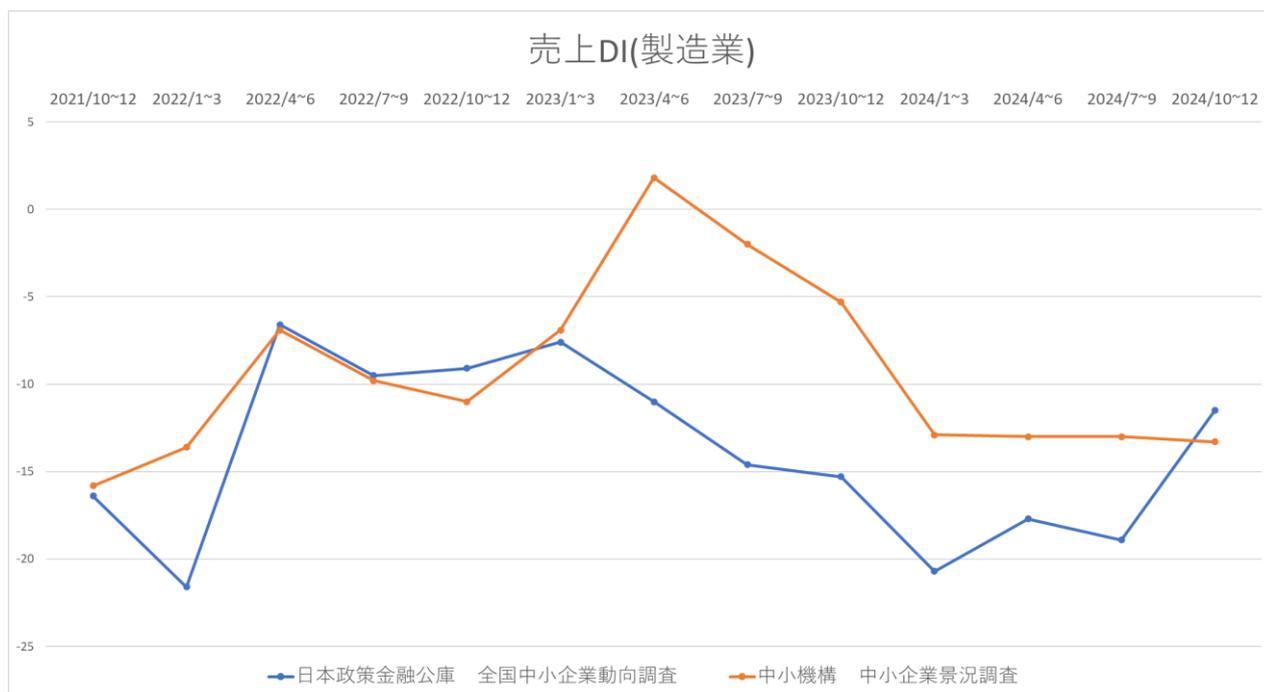


小売業においては、ほぼ横ばいであり、業況があまりよくないことがうかがえる。

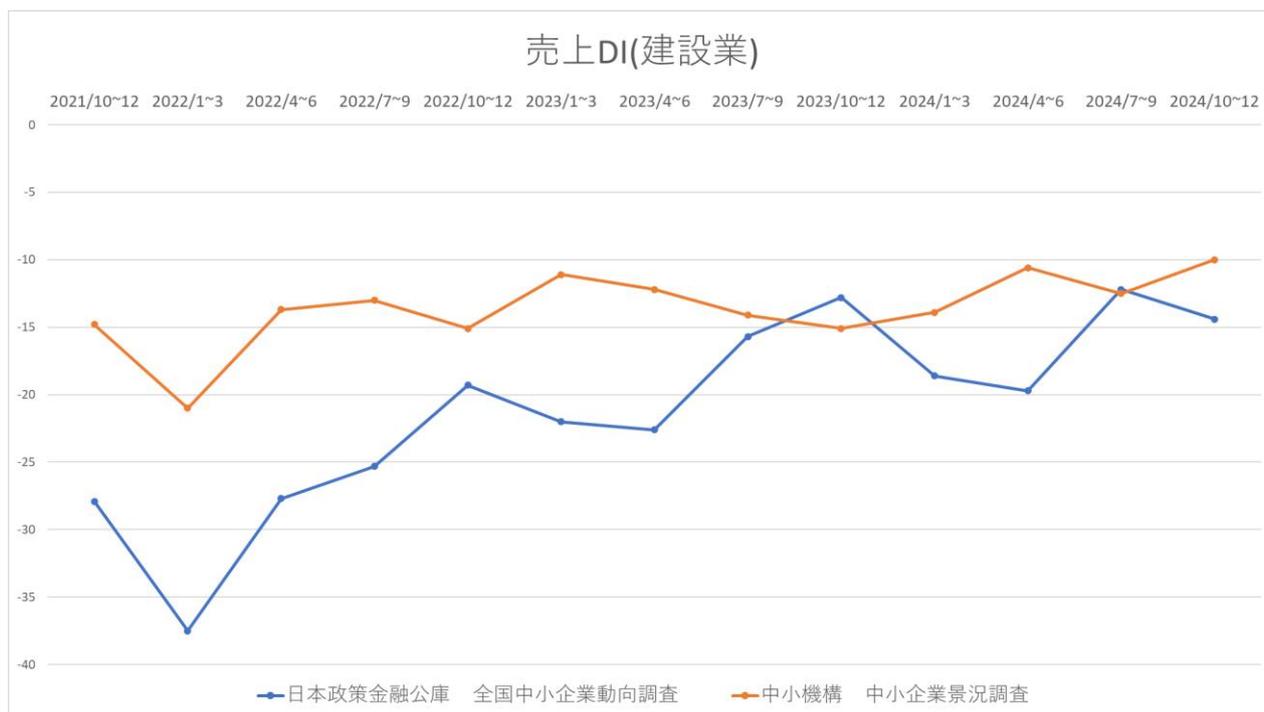


サービス業においては、業況が少しずつではあるが上向き傾向で推移している。

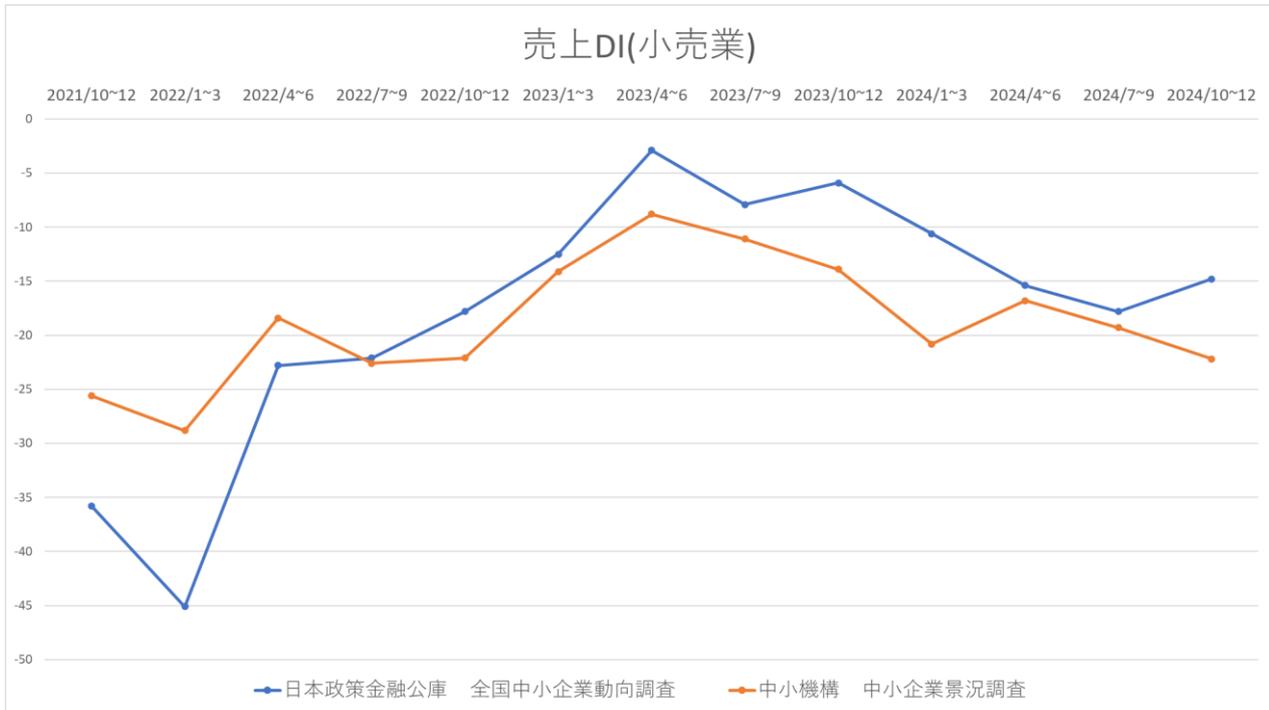
2-2. 売上DI



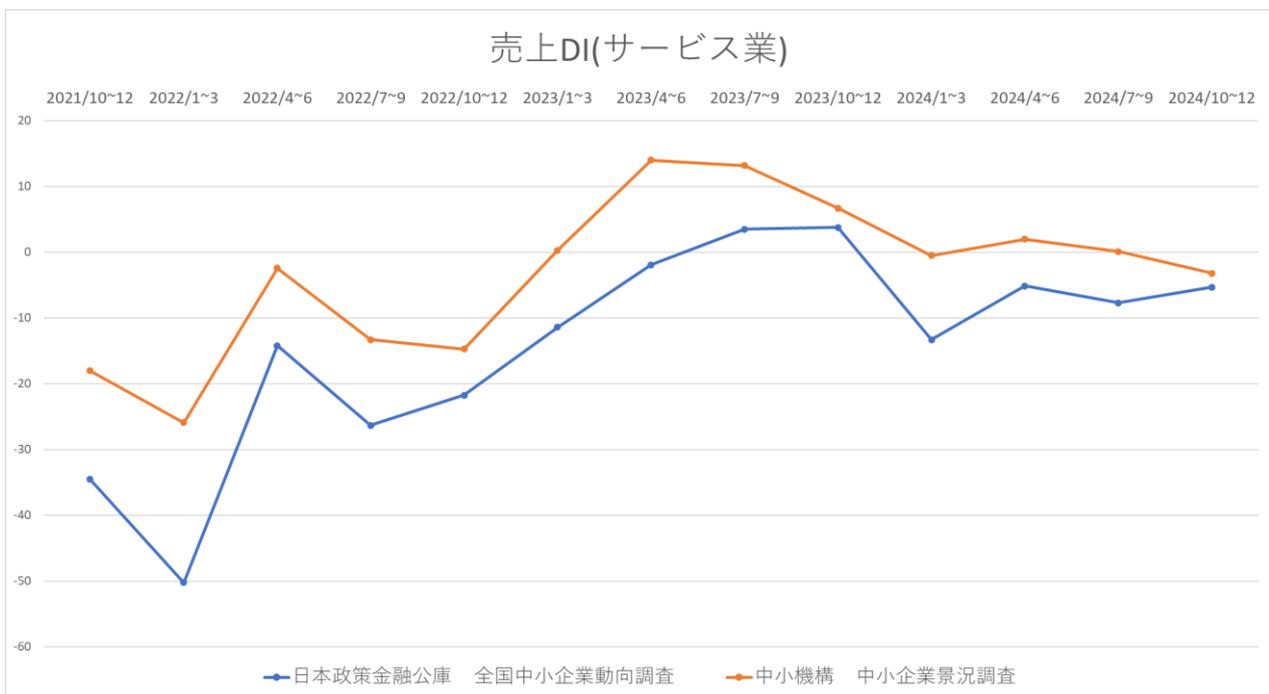
製造業においては、依然として売上が良くない傾向が続いている。



建設業においては、多少の持ち直しは見られたものの、全体的にはあまりよくない傾向にある。

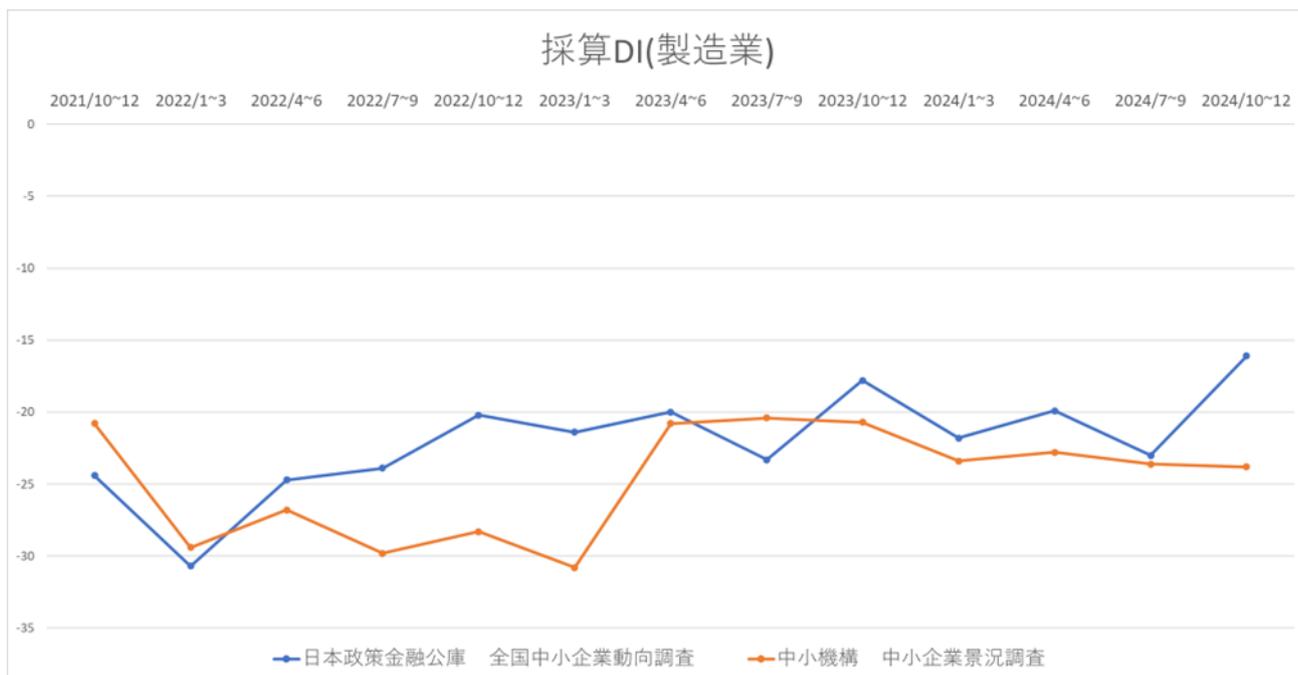


小売業においては、復調気配もあったものの、その後下降している状況である。

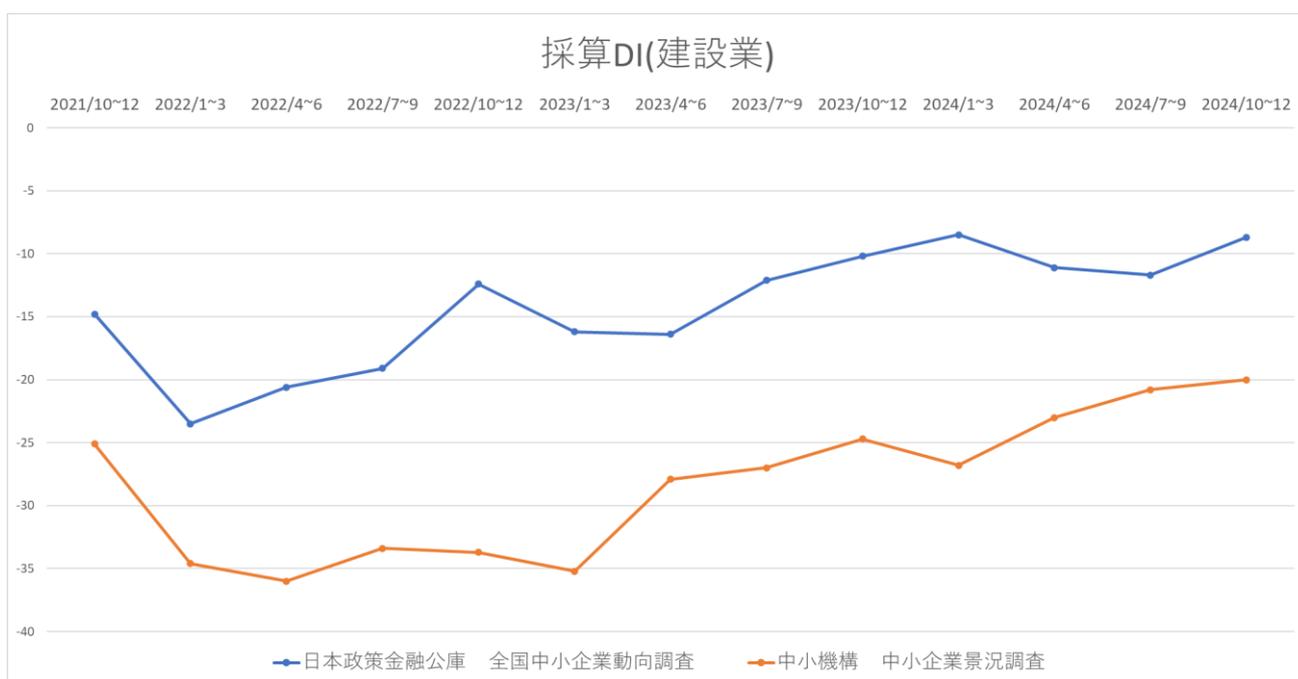


サービス業においては、復調気配もあったものの、その後若干の下降が見られる。

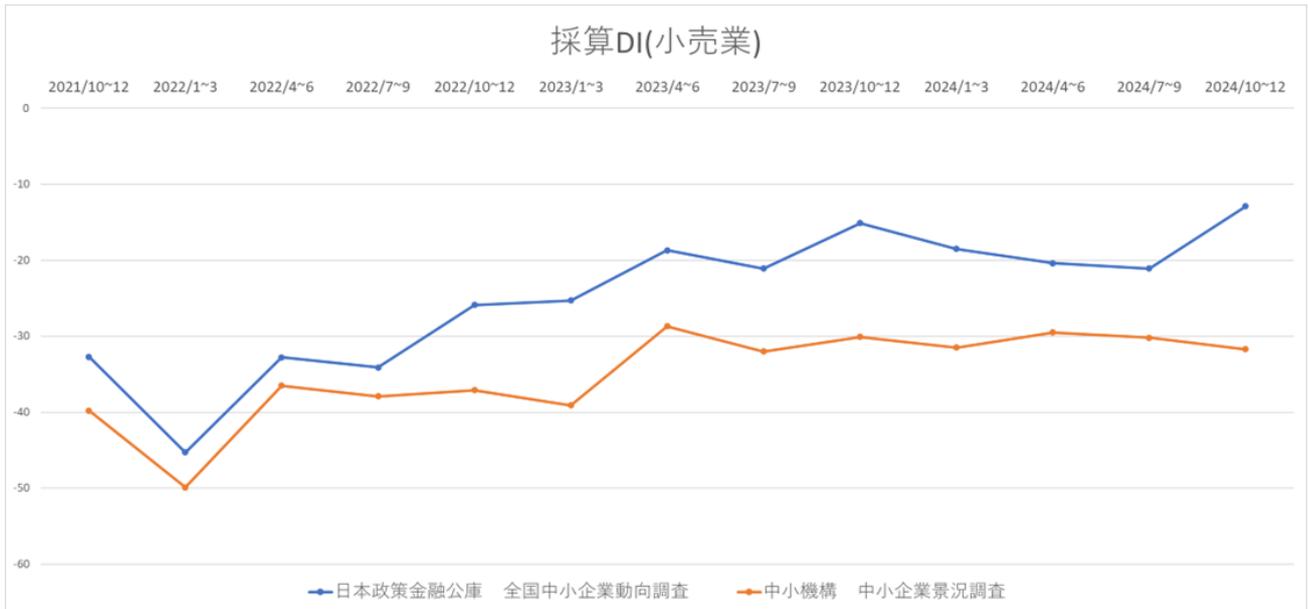
2-3. 採算DI



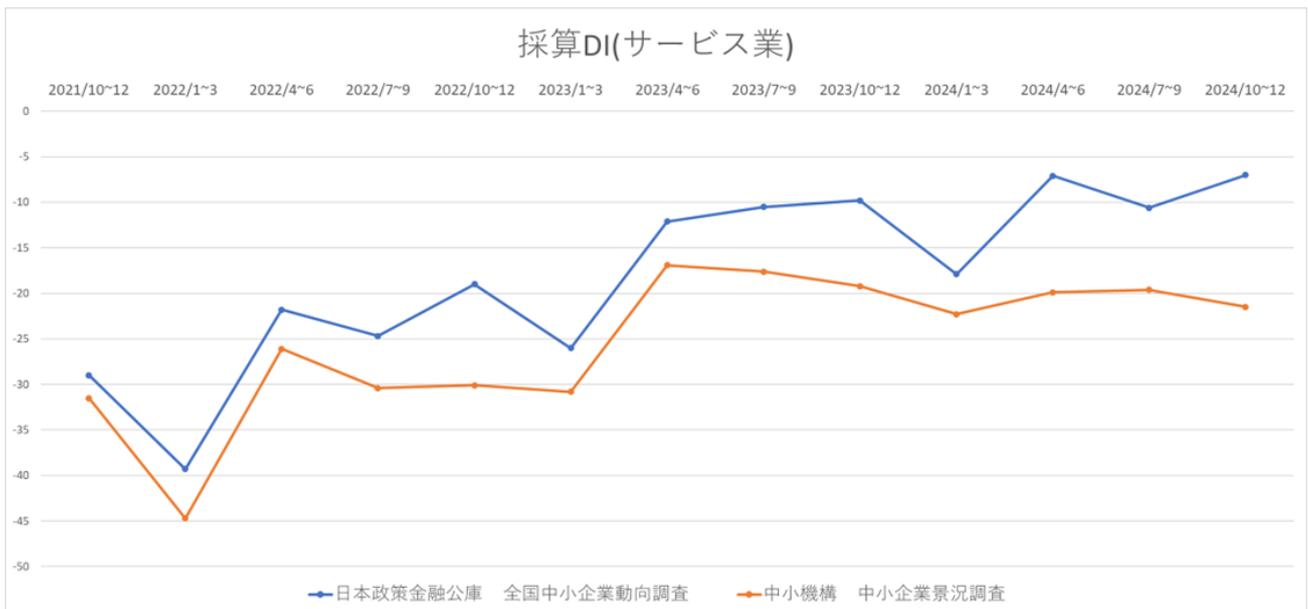
製造業においては、依然として良くない状況が続いている。



建設業においては、少しずつ復調気配にあるものの、厳しい状態は続いている。



小売業においては、上昇と下降を繰り返しつつも、採算が緩やかに改善傾向にある。

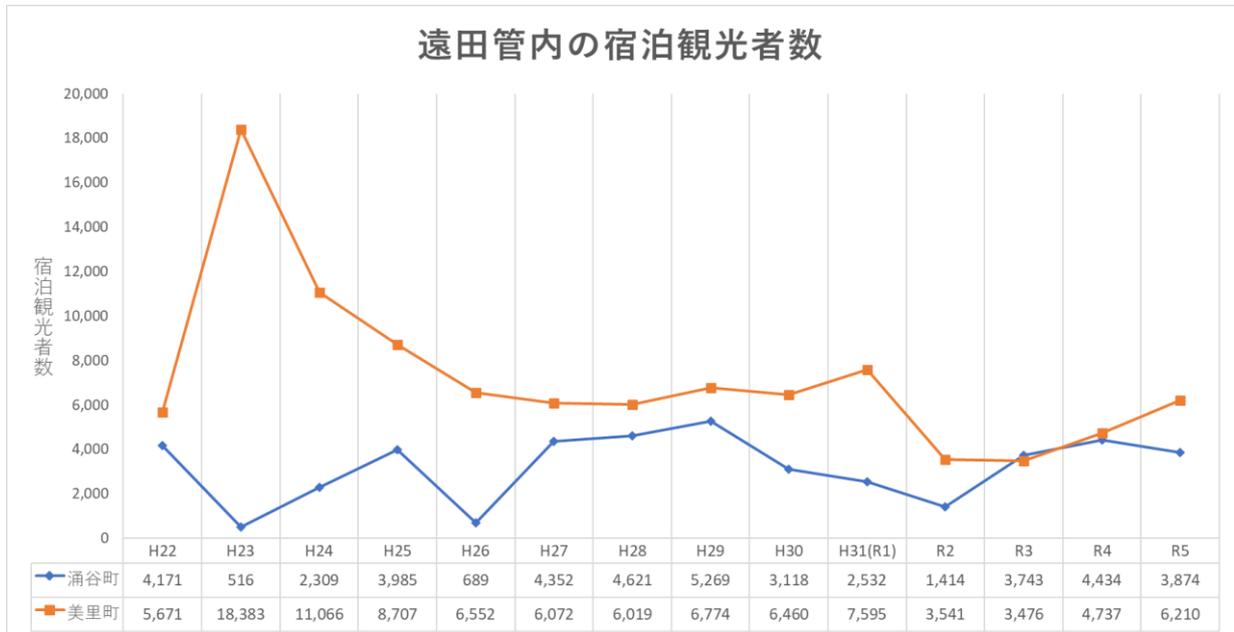


サービス業においては、全体的に採算が改善傾向となっている。

第2部：遠田商工会管内の観光動向

① 遠田管内の宿泊観光者数

令和2年に新型コロナウイルス蔓延による影響で宿泊観光客数が両町とも減少したが、その後回復傾向にあるが、令和5年においては涌谷町の宿泊観光者数が若干減少している。なお、美里町における平成23年の宿泊観光者数が突出しているのは、同年に会津美里町も参加して行われた「美里町物産観光復興祭2011」が開催された影響と考えられる。



(出典：宮城県経済商工観光課 観光統計概要 R5年)

② 遠田管内の主要観光スポット入込者数

コロナ禍以降、一部スポットで増加傾向が見られている。そして花野果市場に関しては安定した入込者数であり、管内で最も人数が多い。なお、田園フェスティバルにおいてR3年が空白なのは、新型コロナウイルスの影響により開催中止となったためである。

| 町名 | 施設名 | 入込者数 | | |
|-----|---------------|---------|---------|---------|
| | | R3 | R4 | R5 |
| 涌谷町 | 城山公園 | 2,342 | 2,662 | 30,452 |
| | 涌谷町くがね創庫 | 1,645 | 1,928 | 1,281 |
| 美里町 | でんえん土田畑村 | 2,515 | 3,318 | 3,465 |
| | 農産物直売所「花野果市場」 | 243,803 | 235,520 | 238,628 |
| | 田園フェスティバル | - | 9,000 | 12,000 |

(出典：宮城県経済商工観光課 観光統計概要 R5年)